



防災士よこはま

日本防災士会横浜支部通信

第39号 NO. 044

日本防災士会横浜支部
支部長 今井 淳
事務局長 早乙女善彦

発行日 2019年7月15日

「HUG中級研修会」開催報告

今回の研修会は、通常のHUGを習熟している防災士支部の会員で、参加した皆さんにはファシリテーター、講師として活躍してもらうことを目標として開催しました。研修内容は各自が避難者カードの隠れた部分を考えて、ファシリテーターとしての資質を向上させるゲーム内容で横浜支部と葉山支部の合同で研修会を開催いたしました。

日 時: 2019年(令和元年)7月15日(月) 10:00~12:00

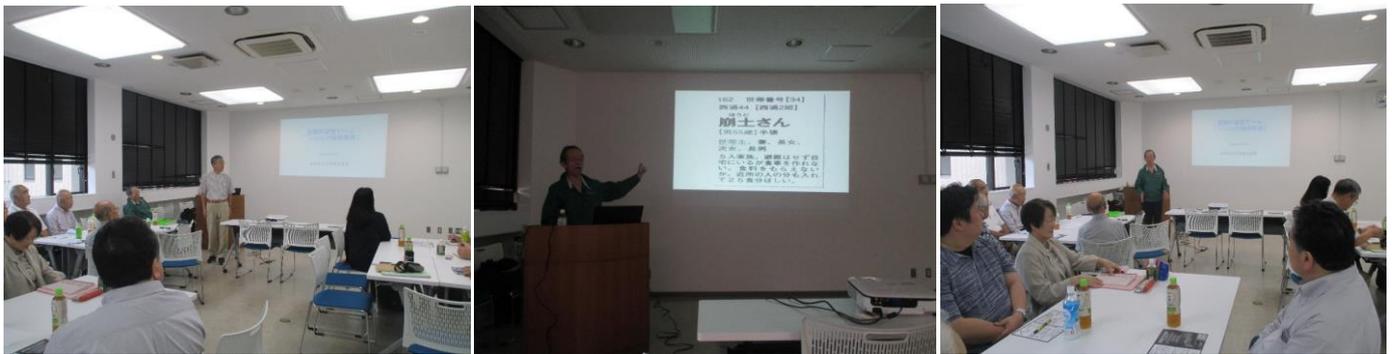
会 場: 横浜市民防災センター 横浜市神奈川区沢渡 4-7

参加者: 18名(横浜支部:13名、葉山支部:5名)

講 師: 長沼 副支部長

【研修概要】

3班に分かれて配置し、テーブル上には通常HUGで使うべく避難者カード、避難所となる学校の図面、筆記用具は置きません。避難者カードはPCのパワーポイントに取り入れてプロジェクターを経由してスクリーンに映しました。映したカードを講師が読み上げ、3班の中で話し合う。制限時間1分間として話した結果を各班のリーダーが発表する。3班が発表した後に講師がカードに書かれた内容を深く読み取りアドバイスをし、それを受けて全員で考える。カードは難しい内容のものを抜粋したり、あらかじめ、講師が難しい内容になる様に作っておいた。そして、カードに併せて解決の手助けになる資料を口頭又は添付や紙資料で配布した。(持ち帰って勉強できる為) 班の発表者(リーダー)はカード毎にリーダーを変え、参加者全員がリーダーの経験をしてもらう。



【支部長感想】

講師が検討課題をプロジェクターによりスクリーンに写しだし、それにつきまして3班で検討し、各班で検討し発表する形式で、いままでのHUGの実施方法ではなく、図面・マジックペン等は使用せず、各班の人達が口頭で現状を捉え的確な判断をして発表していたが、控えめで意見を積極的に発言しない人がいないような雰囲気作りをすることも必要であると考えました。

年度計画に基づき、会員の皆さんの防災活動のスキル・アップを図る事を目標に実施していますので、会員の皆さんには何かとお忙しいとは存じますが、土・日曜日や祝祭日を中心に計画していますので、次回はぜひ参加してもらいたい。

文責: 長沼副支部長